

e-ビーフNEWS 北の牧場から

November 2017

十勝の初雪

例年より今年は早いですね。10月に初雪を観測し、十勝を囲む山々は、すそ野まで真白にペールをかぶりました。気温も日に日に下がり氷点下、日中でも10℃の行かない日もあります。朝日が遅くなり6時でも薄暗く、お日さまの傾きも大きくなってきました。いつの間にか日の入りが早まり5時では真っ暗です。いやや季節が早くて着いてゆけませぬ。街の風景も一変し朝霜の降りた草は日中融けると黄土色に変わっています。今年の色鮮やかな紅葉は、ドサッと落ちハゲ枝に変身。クワークワーと叫びながら上空をコハクチョウが「へ」の字に編隊を組み西の空へ飛んでゆきました。

農作業も終盤、冷たい雨や曇の合間を縫ってトラクターが収穫作業に追われています。牧場では、町営牧場からの下牧も始まり、子牛を連れての母牛たちがモッコリ太って戻ってきました。平地では白の使者を出迎えるために準備に入っています。



活動のお知らせ

10月26日(木)～27日(金)…北見市農業会館 第22回北海道肉牛研究会大会

11月 8日(水)…とかちプラザ 日本短角種研究会 講演会

9日(木)…10:30～北海道畜産公社 道東事業所十勝工場 第7回北海道肉専用種枝肉共励会

13:00～とかちプラザ 視聴覚室 第18回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2017

シンポジウムテーマ:「マイナー(希少)品種の赤身生産と流通」

・基調講演「日本の赤身牛肉生産とその流通」 弘前大学院農学教授・日本産肉研究会会長 松崎 正敏教授

・話題提供1.「釧路の風土に適したアンガス種にほれて」 榛澤牧場(釧路市) 榛澤 保彦代表

・話題提供2.「ジャージー牛肥育の取組」 関谷牧場(新得町) 関谷 達司代表

・話題提供3.「希少肉専用種の流通を手掛けて」 パルシステム生活協同組合連合会 産直部 江川 淳部長

・話題提供4.「最新」赤身牛肉の評価基準」 帯広畜産大学 口田 圭吾教授

・パネルディスカッション

18:00～意見交換会eビーふ 試食会ホテルグランテラス帯広

17:30～18:00 食味試験帯広畜産大学 口田研究室主催

11月10日(金)…9:00～現地検討会 新得 関谷牧場

NEWSばか読み

- 神奈川県ジビエカー(移動式処理車)採用 衛生確保し条例改正 10/3:車体のマーク?
- 林野庁 松くい虫過去40年で被害最小 媒介昆虫の駆除進む 10/3:景観確保
- 芽室町 農地被害防止の防風林維持に補助 実績評価 10/3:基盤の目維持
- イオン モールからアウトレット、コト消費主体のSC 10/4:流通体系の変化進む
- 伊藤忠飼料NTTテクノクロス スマホ画像で推定体側開発 10/4:IT活用進む
- 農林水産省 パイオマス町村に道内滝上、中標津、鶴居村3ヶ所選定 10/4:
- 世界経済 主要10カ国10年ぶりにそろってプラス成長3% 10/8:経済膨張
- 宮崎県外資系(ニュージーランド)キウリ生産法人が発収穫 10/9:農業分野にも外資
- 米国ウォルマート ネット販売急拡大から店舗網をデリバリー化へ 10/12:流通形態の変化
- 小売業界 3-8月決算で百貨店回復 10/13:インバンドシェア拡大
- 米国 ユネスコ撤退 10/14:いつまでも良い顔できないか?米国の実体か?
- グッチ 製品全体に皮原料使用せずアニマルフリーを宣言 10/14:農耕民族に
- 公庫 食品産業の労働力不足が深刻で設備投資に増 10/16:「手作り」無くなる
- 台湾向け和牛輸出順調な滑り出し火鍋料理でフルセット使用可能 10/17:いいね

- ローソン ホットミルク販売開始 冬の牛乳消費拡大へ 10/17:私はホットワイン
- MC復活でバーガー各社 大量出店競争に突入 10/17:もっと国産使って
- 貿易黒字 17年上期対米3兆円に拡大 10/20:トランプツイッターありそう
- 日本ハム 全国の自社物流網整備し他社に開放 10/20:流通業界に参入
- ビックカメラ 玩具専門店に参入 10/20:流通業態の多様化
- 9月乳生産 北海道1年ぶりに昨年増 昨年の台風影響から回復 10/24:やっとな
- 苦戦のアパレル各社 アスレジャー(アスレチック&レジャー) 参入拡大 10/25:新語
- 道総研加工センター油で上げない米果開発賞味期限2倍 10/26/ノンフライ加工技術
- 所有者不明土地2040年には720万haに 10/27:耕作放棄地同類
- 観光庁19年から出国税1,000円徴収検討開始 10/28:早く出ないと
- 不動産 低金利で海外投資家活発に買い 10/29:日本買われちゃう
- 農林水産省 高齢化で17年主要果樹茶栽培面積減少傾向 10/30:後継者育成至急
- 長野県松本市第1回食品ロス削減全国大会開催 10/31:まず我が家の冷蔵庫から
- 世界気象機関 世界の温室効果ガス濃度最高を更新 速度早まる 10/31:火急な課題
- 田畑価格17年引き続き下落傾向 高齢化後継者問題深刻 10/31:就農促進策必要

東京直近NEWS (10/31 Shi-REPORT)

ホルス 11月枝相場は上げ基調で推移。ホルスの減額が顕著で産地は集荷競争の状況から建値にプラス値で仕入実施。販売については、気温の低下からスライスものにシフト。カタロースは不足状況で評価急騰状態、冷凍ものも含めて不足模様。逆にモモ系は低迷しており、一部では交雑種の2等級パーツとバッティングしてきている。カタロースは例年よりも荷動き早く、次いでロースの引き合いもやや強い。今後、共励会や展示即売会などの開催時期で上物は高騰してくる予測で、ホルスの売価が低迷してきている。

経産牛 枝相場は高値安定状況で推移し直近はさらに若干の上げ基調。上場頭数はある程度潤沢の状況も先行き不安は強い。販売については、パーツの赤身ロイン系は不足状況変わらずも、バラ系がやや鈍い。季節的に切落しの問い合わせ増だが、輸入物も比較的余裕あり、大きく国産シフトには至っていない。挽き材は、全般荷動き鈍く価格対応の流通情報があることも事実。豚の高騰から合挽きの特売打てないことが大きく影響し、輸入物も価格メリット弱く、一部では国産へのシフトもあるが大きくは変化していないため、停滞気味。国産牛全般高値から、関西地区でも経産牛の需要と問い合わせは増加。

国民の多くが望んでいたとは思われない衆院総選挙は国民感覚が伝わったかどうかは別としていつもの政治ショーの結果となりました。国民の生活現場からかけ離れた国民の代表として世襲政治家を生み、彼らを国の民意とするような政治体制に変化が起きなければ社会格差は中々消えないでしょう。人口の多い大国に対して説得力がなく主導権を握られ、国家間の格差が益々拡大してゆくことを強く恐れます。格差社会の拡大解消に自然を相手にする農業が環境保全への役割や世界の貧困撲滅に効果を挙げてくれることを期待したいと思います。e-びーふNews47号の学術情報は以下の通りです。

1.日本畜産学会第123回大会(2017.9.6-7於:信大農・伊那)

(1)IV-06-06 黒毛和種新生子牛における受動免疫移行不全の判定基準(森井泰子他、道総研畜試)

初乳摂取不足による黒毛和種子牛の受動免疫不全(FPT)について自然哺乳子牛321頭の生後2日の血清IgG・タンパク(TP)濃度とへい死亡率との相関を検討しました。その結果、黒毛和種子牛の血清IgG濃度は0.04~84.5mg/mlの範囲内でTP濃度と高い相関がみられ、FPT判定基準は血清IgG 25mg/ml、TP 濃度6.1g/dl以下と思われました。

(2)VII-07-14 熟成及び加熱牛肉の呈味物質変化と味覚センサによる呈味性分析(中田悠介他、神戸大院農)

牛肉の呈味物質であるペプチド、遊離アミノ酸、核酸関連物質と脂肪交雑との関連性を検討するために7~21日熟成後加熱したホルスタインおよび黒毛和種牛肉についてHPLC分析や味覚センサなどで呈味性を分析しました。熟成により呈味物質は増加し、イノシン酸は減少。黒毛和種牛肉の呈味物質

は少なく、熟成で酸味が減り、苦味、渋味、甘味が増えました。

2. 畜産技術2017.10: 28-33, (技術情報P3)

全国域での黒毛和種の遺伝的能力の推移について(細野真彦:家改セ)

家改セが肥育農家の同意で得た出荷頭数の60%の枝肉情報から全国の枝肉データベースを構築し、黒毛和種種雄牛と繁殖雌牛の全国的改良動向の把握に遺伝的トレンドを公表しました。1998年以降育種価評価が進んで枝肉重量が向上し、皮下脂肪やBMSは種雄牛の改良効果が繁殖雌牛に反映し、両者の能力差は縮小、黒毛和種全体の肉質形質が向上しています。尚、褐毛和種および日本短角種については家改セHPに示されています。

3. 2017. 9.8. 栄養生理研報Vol.61,#2 ;21-31, h29年度 秋季集談会於: 信大農・伊那

「日本および東南アジアにおけるウシからの消化管由来メタン排出抑制の可能性」(鈴木知之他、国際農水研セ)

畜産による主要温室効果ガスは乳・肉牛など反芻家畜の消化管発酵由来のメタンで温室効果はCO₂の25倍とされ、わが国の肉牛でも乳牛と共にその排出抑制が求められています。必要生産量を維持しつつ頭数の減少と抑制効果のある生米ヌカやビール粕の利用や生産期間短縮技術および新抑制剤3NOP(3-nitrooxypropanol:メタン生成のメチル基転移阻害剤)などの適用で13%抑制が達成可能とされています。

道総研 畜産試験場NEWS

道産牛肉のおいしさ 全6回シリーズ④ 道総研 畜産試験場 肉牛グループ 大井 幹記

